



すすんで学ぶ子  
心豊かな子  
たくましい子

# 中宮

令和5年10月2日  
第656号  
枚方市立中宮小学校  
校長 池原 義人

## 中宮の子たちは、子どもらしくてよい子ばかりです

相手の立場に立って、思いやる心や態度を学んできました

6年生は、9月28日(木)29日(金)修学旅行(広島県平和記念公園・岡山県総社市・兵庫県姫路セントラルパーク)に行ってきました。出発の朝、校長あいさつの中で厳しい話をしました。学校のルールを守っていないから連れていかないと、時間を守っていないから連れていかないと、言いません。しかし、日常生活の中で人の気持ちを考えないようなことをする者に、平和学習など相応しくない。平和学習とは、相手の立場に立って相手を思いやる心や態度を学ぶこと、そしてそれができないと、どんなに恐ろしくて悲しいことに繋がるのかを学ぶことです。修学旅行での二日間で、そんな心や態度を少しでも身に付けてもらいたいと話しました。

楽しみにしていた修学旅行出発の朝に厳しすぎる話、分かってくれるかなと思いましたが、たくさんの子達が、それを理解した行動で表してくれました。旅行中、体調が悪くなった友達への気遣い、車いすを使わなくてはならなかった友達の手助け、助けてもらった子はしっかり感謝を伝えている。広島路面電車内では、一般の方々への気遣いから会話を控えたり、さっと席を譲ったりと、とても嬉しい姿を見せてくれました。そんな行動と心で臨んだ平和セレモニーは、とても立派なものでした。観光に来られていた外国の方々も、その姿に引きつけられるように静かに見守っておられました。

学校到着後の解散式では、この二日間を振り返り、今月末に控えている運動会でも、6年生として素晴らしい姿を見せてもらいたいと伝えました。相手の立場に立って、相手のことを考えながら励んだ運動会練習での成果を、保護者や下級生にも見せてくれるはず。期待をもって楽しみにしていってください。



ルールを守らせることは、子どもを守る大人の責任でした

高校生5人「大麻吸った」

大阪府内の私立高校に通う男子生徒5人が、大麻を使用したと学校に説明し、府警が大麻取締法違反で捜査していることが捜査関係者らへの取材でわかった。生徒は「大麻リキッド」と呼ばれる液状大麻を吸ったといい、府警は使用の経緯や入手経路を調べている。

摘発中高生10年で16倍(2013年10人→2021年194人)

《読売新聞-令和5年9月22日朝刊より》

この記事の前月8月には、日本大学アメリカンフットボール部による大麻事件も発覚しています。数年前の過激なプレイによる反省から、立て直しを図っていたはずの集団による、耳を疑うような出来事でした。

では、この若者達、いきなり「薬物乱用」に手を染めたのでしょうか?もちろん、そうではないと思います。

薬物乱用の入口は、未成年者(20歳未満)の喫煙と言われています。ここで注目しなければならないのは、「20歳未満」ということです。20歳以上の喫煙は、健康への悪影響があったとしても、依存性があったとしても法的に認められている行為です。しかし、未成年者(20歳未満)の喫煙は、例え20歳目前であっても違法行為なのです。法律(ルール)を守っているか否かに大きな違いがあります。

「車通りの多いところの信号は無視してはダメだが、ここならいいよ」「ビールはダメだけど、フルーツリキールはジュースみたいだからいいよ」「土の上は上靴で歩いてはダメだけど、コンクリート上ならいいよ」等、決められたルールをそれらしい理由で許してしまうと、子どもは何が正しくて何が間違っているのか分からなくなってしまいます。

車の法定速度、もちろん守るべきルールですが、制限速度内で走行していると煽り運転などの被害に遭うことがあります。しかし、それを避けようとする速度超過をしてしまうことになる。ただ、それを守らないと責任(交通法規による罰則)をとらなければならないし、周囲に大きな迷惑(交通事故による加害事象)がかかるかもしれないことを理解しなければならないと思います。大人であっても自分勝手なルールの境目は、とても難しくそれなりの責任を伴います。

だからこそ、判断能力の未熟な子どもに対して、大人が惑わせるようなことをするのは慎むべきだと思うのです。小さなルールでもしっかり守らせることによって、責任をとらなければならないことや、人に迷惑をかけるということから、子どもを守ることができると思います。

以前にも書きました。けんかして泣いて帰ってきた子に「やり返してこい」、これは「暴力を振るってこい」と言っているのと同じです。暴力行為、何歳までならオッケーで、何歳からはダメと説明すればよいでしょう。

ルールを守らせることは大切だったのに、大人の責任を果たせていたのだろうか学校生活の中でも確認する必要があると、平和学習への引率で改めて思いました。